

OFA第31回大阪府U-11小学生サッカー大会三井のリハウスカップ 兼 関西小学生サッカー大会大阪府大会 大会規定

1.大会名	OFA第31回大阪府U-11小学生サッカー大会三井のリハウスカップ 兼 関西小学生サッカー大会大阪府大会
2.主催	一般社団法人 大阪府サッカー協会
3.主管	一般社団法人 大阪府サッカー協会 第4種委員会
4.後援	日刊スポーツ新聞社
5.協賛 協力	(協賛社) 三井不動産リアルティ株式会社 (協力) (確認中)
6.参加費	7000円×エントリーチーム数(当協会の主催する競技会への参加費は不課税取引として取扱いとなる)
7.日程	各地区に委ねる。(中央大会抽選日まで地区代表を決定させること)
8.会場	各地区に委ねる。中央大会はJグリーン場など
9.競技方法	各地区に委ねる。中央大会はトーナメント制
10.技時間	各地区に委ねる。中央大会は20分-5分-20分
11.参加資格	5年生以下の選手。複数エントリーチームの選手入替は不可とする。
12.コートサイズ	68m×50mを推奨する。ゴールの大きさは5m×2.15m(少年用サッカーゴール)とする。
13.競技規則	(公財)日本サッカー協会「8人制サッカー競技規則」最新版に準じ、これ以外の部分は、(公財)日本サッカー協会「サッカー競技規則」に準ずる。
14.競技人数	8人
15.エントリー	エントリー方法(別紙参照 HP記載) エントリーサイトの入力と大会参加費の振り込みを締切までに行うこと
16.AEDの確認	各会場本部役員及び各会場提供責任者は、AEDの設置場所の確認に努める。
17.中央大会日程	2/1(土) 2/2(日) 2/8(土) 2/9(日)
18.中央大会会場	4種委員会が用意した会場(J場予定)
19.中央参加費	1チームにつき5,000円を中央大会初日に徴収する。
20.中央競技方法	トーナメント方式
21.中央大会出場チーム	48チーム(8地区出場枠は各地区出場チーム数によって按分のうえ32枠を決定) 4種リーグU11から8枠(ABゾーン1部から4枠、CDゾーン1部から4枠)と各地区1枠を上記32枠と別に与48チームとする。
22.組み合わせ抽選日	【抽選日】1/27(月) 予定
23.組み合わせ抽選会場	会場:未定
24.各大会への出場権	大阪府大会上位4チームは『フジハンカップ関西小学生サッカー大会』に出場する義務を負う。 関西大会出場権を獲得したチームは必ず大阪府大会メンバー(ベストメンバー)で出場する事。 関西大会の辞退は認められない。(他の大会・指導者は行事、遠征等が関西大会と重複した場合も必ず関西大会を優先する事。 関西大会出場に関し何等かの問題を生じさせたチームにはJFA諸規定に準じてOFA司法機関で最も重い懲罰を科す事とする。懲罰を科されたチームはその懲罰を遵守する義務を有する。
25.試合の成立	試合開始時に6名以上とし、一方のチームが6人に満たない場合は試合を開始しない。ただし、試合中の負傷等による競技者が6人未満にならない限り試合は続行する。
26.棄権(書類不備も含む)	棄権が生じた際のスコアは0-99とする。ただし、これにより得点などで順位に影響を及ぼす場合、棄権チームとのスコアは全て削除する 審判不履行などの大会運営に重大な支障をきたしてしまった場合、その指導者のチームの試合を不戦敗(0-99)とする。またこの結果で順位に影響のある場合は上記の通りとする。
27.予選リーグ戦実施の場合	リーグ戦の順位は勝ち点→当該結果→当該得点→得失点→多得多点→抽選の順
28.交代選手	試合毎の登録は交代選手を含め16名までとし、試合に出場していない競技者は交代要員となる。一度退いた選手は再び交代要員となる。
29.警告	大会期間中、警告の累積が2回になった選手は次の1試合に参加できない。地区予選での警告は中央大会に持ち越さない。
30.退場	退場を命ぜられた選手・指導者は次の1試合に参加できない。その処分は規律委員会にて決定する。 また、試合中に負傷退場した場合、主審は別の選手を補充して8人にしてから試合再開しなければならない。(ただし、登録選手が8人の場合を除く) 中央大会での退場は中央大会に持ち越さないが、悪質な退場に関する退場に関してはその限りではない。(1発レッド)
31.メンバーチェック	試合開始30分前までに本部で【選手証】【メンバー表】【申し送り】のチェックを行う。【選手証】とは電子登録証カラーコピーであり、携帯電話などの画面での確認は不可とする。 選手証、メンバー表と当日の選手の並びは全て同じになるように揃えておくこと。ユニホームに広告がある場合はJFAからの「回答書」を持参しておくこと。
32.選手証	提示のない場合、顔写真を貼っていない場合は出場を認めない。また、チームとして提示のない場合は棄権とする。 電子登録証カラーコピーを認め、携帯電話などの画面での確認は不可とする。
33.背番号・胸番号	シャツの前面及び背面には、選手番号を必ず表示しなければならない。選手番号は、服地と明確に区別し得る色彩 (服地が縞柄等であって明確な識別が困難なときには、台地を付ける)かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。
34.ベンチ人数	チームベンチには指導者3名までと登録選手のうち16名のみとする。(合計19名以内とする)
35.審判	1人制で行う(主審・補助審判ともに有資格者が行うこと) 新規及び昇級等で審判証が手元がない場合は、審判委員会の押印のある合格(証)通知と顔写真付きの本人確認できるものを提示する義務を負う。 協会派遣の場合、及びアクティブ登録を行い指導を受けた審判員の主審を認める。通常のユース審判員の中央大会までの補助審判を認める。 審判服は全て正規のものを着用し、アンダーシャツ・アンダーショーツは同色のみ認める。 審判証(写真貼付済)の提示及び所定の位置にワッペンを貼付を義務とする。(カラー電子登録証を可とする。)
36.ユニフォーム	FPは正・副2セット必要(副ユニフォームのピブスは認めない、正・副ともに背番号、胸番号が必要) ユニホームとはFPで番号以外は全く同じもの、GKで番号以外は全く同じものとする。(ただし、メーカーロゴの変更や移動のみの場合はその限りではない) GKは正・副ともにFPと別色の2セット必要(GKユニフォームのピブスは認めない、正・副ともに背番号、胸番号が必要) カーフソックスを使用する場合は下に履くソックスはカーフソックスと同色のものとする。または下に履くソックスが見えない状態とすること ベンチ選手、指導者はユニホームと同色のウェアは着用できない(ピブスや別色のウェアで対応すること) GKがFPとして出場する場合、又は、逆の場合の背番号は固有番号で有れば、必ずしも一致しなくてもよい。(正副の番号は一致しなくてもよい) ただし、事前にメンバー表にそれぞれの背番号を記載しておくこと。 テーピング等をソックスの上に着用する場合は着用するソックスの部分と同色のみ認める
37.アンダーシャツ	上着の袖の下から見える場合袖の主たる色と同色であることとする。
38.アンダーショーツ	ショーツ下から見える場合パンツの主たる色または裾と同色であること、またショーツの主たる色と裾の色が別色の場合チームでどちらかを選び統一していることとする。
39.キックオフ	キックオフから直接相手側のゴールに入った場合は、相手側のゴールキックから再開する。
40.テクニカルエリア	設置することができる
41.競技者の交代手続	(FPの場合)交代によって退く選手は、交代ゾーンからフィールド外に出て、その後、入る選手は、交代ゾーンからフィールドに入る。 インプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず交代でき、主審及び第4審の承認は必要としない。ただし、GKを含め、第4審の用具チェックは受ける。 (GKの場合)ボールがアウトオブプレーになった時、主審に通知し、主審の許可を得て交代を行う。 交代して退くゴールキーパーは、境界線の最も近い地点から競技のフィールドの外に出る。代わりに入るゴールキーパーは交代ゾーンからフィールドに入る。 ※FPもGKも負傷等により退く選手は、交代ゾーンからフィールド外に出る必要はない。
42.大会期間中の移籍	移籍元のチームにおいて本大会に出場した者に関しては移籍先のチームにおいてその出場を認めない。
43.負傷者	負傷者については各チームで処置等を実施することとする。主催者及び主管者は一切の責任を負わない。
44.規律委員会による懲罰の決定	会場責任者の指示に従わない場合、駐車制限、喫煙、ゴミの不始末、施設破損等の問題があった場合、レギュレーション違反があった場合、予期せぬ問題が発生した場合、上記の場合、規律委員会にて懲罰を決定し、その対象チームは決定を遵守しなければならない。 なお、当該チームの保護者の行為も含まれるので、その啓発及び周知徹底の義務を有する。
45.延長戦	中央大会の準決勝、決勝、3位決定戦の4試合に限り5分ハーフの延長を実施する。それでも決着がつかない場合はPK戦とする。
46.PK方式	3人制で行う。両チームの得点が同じ場合は、同数のキックで一方のチームが他方より多く得点するまで、順序を変えることなく交互にキックは続けるものとする。
47.複数エントリー	複数エントリーの場合、1st2nd各チーム内に大会に参加出来る最高学年が4人以上いることとする。また、その他の学年は最大6名まで入れることができる。 地区大会の抽選を行うまでにメンバー表の提出をする。提出方法は複数エントリーチーム用メンバー表を参照する。
48.落雷、荒天等による再試合	落雷、荒天や選手の怪我等で運営側が人命最優先とし、それらにより試合続行が困難な場合は試合を不成立とし、再試合とする。その判断は会場責任者が行う 試合中に中断した場合は残り時間を再試合として実施する。再試合時は中断した場所がインプレーであればセンターサークルからドロップボール、アウトオブプレーの場合はその場所から再開する。再試合時の審判、出場選手は中断時と同一が望ましい。中断期間中に別の試合で出場停止処分を受けた場合でも、再試合には出場できる。
49.肖像権	一般社団法人大阪府サッカー協会に認められた提携写真事業者によって撮影された写真が「参加者向け写真販売サービス(ウェブサイトを通じた通信販売を含む)」を行うことがある。 また、DVD等に編集され、販売・配付されることがある。 これらの肖像権に関する事項は大会参加申込として大会エントリーをした時点で、上記取扱いに関する承諾を得たものとして対応する
50.撮影機器の使用	各会場の指示に従うこと。(鶴見人工芝はスタンド、J場、万博FAはフェンスの外) ベンチを含むテクニカルエリア内の集合写真や試合中の撮影は認められない
51.その他	中央大会日程のバス日は出来ないこととする。ベンチ入りスタッフは小学生年代の指導者として相応しい服装・態度であること。 テクニカルエリア内でのテントの使用は認めるが、傘の使用は認めない。大会参加チームは必ずスポーツ傷害保険に加入していることとする。 本レギュレーションは適宜改訂、改善をしていくものとする。